

# 2026年度入学者選抜

## 日本史試験問題

(2026年2月4日実施)

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### [注意]

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れてはいけません。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型、ハンドル付きは不可）とし、それ以外の使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置くこと。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立ってはいけません。
7. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

【1】法と人々の歴史について述べた次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

日本にいつから法が存在したのかは明確ではない。3世紀の邪馬台国のようすを記した中国の歴史書に「其の法を犯すや、軽き者は其の妻子を没し、重き者は其の門戸および宗族を没す」とあるので、このころには何らかの法があったのだろうが、その詳しい内容までは不明である。7世紀には近江令や飛鳥浄御原令が編纂されたと考えられているが、いずれも現存せず、これらも詳細は不明である。本格的な法制は、(a)701年に唐の律令を手本にした大宝律令が  らによってつくられたことによってほぼ整い、(b)9世紀には、律令の補足や施行細則である格式が編纂され、令の注釈書もつくられた。

10世紀ごろから律令体制の動揺のなかで現れ、台頭してきた武士勢力は、長い時間をかけて権力を伸ばし、独自の慣習や道徳をつくりだしていった。その集大成が鎌倉幕府の(c)御成敗式目であり、以後の武家法の基礎となった。その後、必要に応じて発布された法令は式目追加とよばれ、室町幕府もこれになった。やがて戦国時代には、従来の武家法に新しい要素を加味した(d)分国法を制定する戦国大名も現れた。

17世紀初頭に成立した江戸幕府は、統治体制を強化するために(e)武家諸法度をはじめ数多くの法令を制定した。その対象は武士だけではなく(f)公家・寺社や農民などにも及び、内容も細かく必要に応じて修正を加えていった。このように多くの法令を出してきた幕府は、 の際に公事方御定書を制定して裁判や刑罰の基準を明確にした。

19世紀半ばに欧米列強の圧力により開国した日本は、1889年に(g)大日本帝国憲法を発布し、それと並行して諸法典も整備した。政府の方針に反対する人々に対するさまざまな弾圧法も制定され、(h)治安警察法や治安維持法は太平洋戦争後のGHQによる廃止指令まで存続した。

敗戦後の日本ではGHQの民主化政策の下、(i)日本国憲法をはじめ経済・労働・教育・地方自治など多方面にわたって新たな法律が制定された。これにより急激な民主化が進行していったが、冷戦の本格化によってアメリカの占領方針が変化し、独立回復後にも法律の一部改変がおこなわれた。

問1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- |   |        |         |   |        |         |
|---|--------|---------|---|--------|---------|
| ① | ア－早良親王 | イ－享保の改革 | ② | ア－早良親王 | イ－寛政の改革 |
| ③ | ア－刑部親王 | イ－享保の改革 | ④ | ア－刑部親王 | イ－寛政の改革 |



問4 下線部(c)の一部である次の史料に関して述べた文として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 4

第二十三条

一、女人養子の事

右、法意<sup>(注1)</sup>の如くばこれを許さずと雖<sup>いへど</sup>も、大将家御時以来当世に至るまで、其の子無きの女人等、所領を養子に譲り与ふる事、不易<sup>ふえき</sup>の法<sup>(注2)</sup>勝計<sup>しょうけい</sup>すべからず<sup>(注3)</sup>。加之<sup>しかのみならず</sup><sup>(注4)</sup>、都鄙<sup>とび</sup><sup>(注5)</sup>の例、先蹤<sup>せんしょう</sup><sup>(注6)</sup>惟れ多し。評議の処<sup>(注7)</sup>、尤<sup>もつと</sup>も信用に足るか。

(注1) 法意：律令の趣旨。

(注2) 不易の法：代々続いてきた先例。

(注3) 勝計すべからず：数えきれないほどある。

(注4) 加之：そればかりではなく。

(注5) 都鄙：都会と田舎。国中。

(注6) 先蹤：前の人の事業の跡。前例。

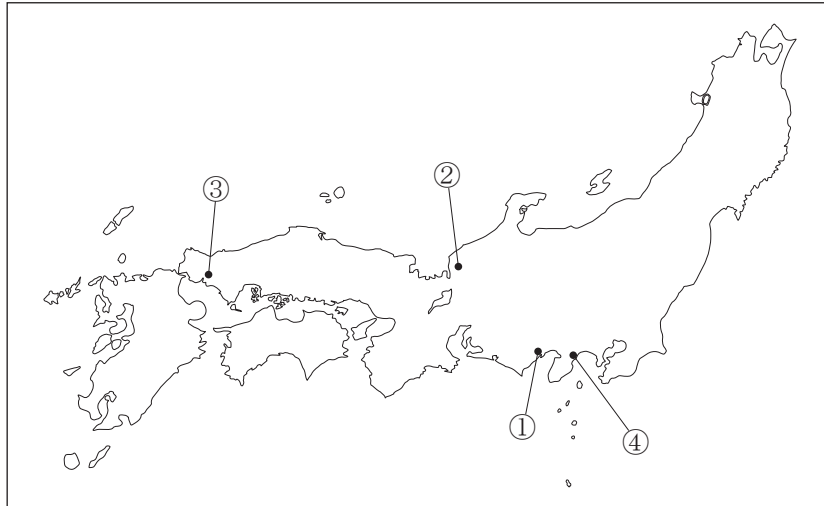
(注7) 評議の処：式目制定過程における評定会議の審議内容。

- ① 男性の御家人は養子として女性を迎えることができると述べている。
- ② 「大将家」とは、この式目を制定した北条泰時のことを指している。
- ③ 律令でも、この式目で規定されている女人養子は許されていた。
- ④ この式目の制定以前にも女人養子の事例は武家社会に存在していた。

問5 下線部(d)に関連して、次の文章は守護出身のある戦国大名家に関して述べたものである。その居城の場所として最も適当なものを、下の地図中の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

この大名家は15世紀末ごろに、個々に発してきた法令や命令を掟書にまとめた。また16世紀前半には明との貿易に関する細川氏との争いに勝利し、その主導権を握った。

地図



問6 下線部(e)について、江戸幕府が出した武家諸法度に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 6

- Ⅰ 金地院崇伝が起草した法度であり、第一条に「文武弓馬ノ道、<sup>ぶんぶきゆうば</sup>専ラ相嗜ムベキ事」と記された。
- Ⅱ 「大名小名、<sup>しょうみょう</sup>在江戸交替、<sup>ざいこうたい</sup>相定ル所也」という参勤交代が初めて制度として定められた。
- Ⅲ 「文武忠孝を<sup>はげま</sup>励し、礼儀を正すべきの事」と儒教思想の徳目を重視し、末期養子の禁止の緩和や殉死の禁止なども定めた。

- ① Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ      ② Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ      ③ Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ
- ④ Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ      ⑤ Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ      ⑥ Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

問7 下線部(f)に関連して、江戸幕府が出した公家や寺社に対する法令や制度に関して述べた次の文

X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 7

X 京都所司代において、禁中並公家諸法度を制定し朝廷の監察などをおこなった。

Y 紫衣事件を契機に全国に禁教令を出し、それを徹底するために宗門改めを実施した。

① X - 正 Y - 正

② X - 正 Y - 誤

③ X - 誤 Y - 正

④ X - 誤 Y - 誤

問8 下線部(g)に関して、憲法に先立って刑法が制定された。そのなかで「天皇 三后 皇太子ニ對シ 危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス」と規定された罪として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選びなさい。 8

① 内乱罪

② 不敬罪

③ 姦通罪

④ 大逆罪

問9 下線部(h)に関連して、治安警察法と治安維持法が関係した出来事について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句や文a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 9

X この団体による治安警察法改正を求める運動の結果、女性が政治演説会に参加できるようになった。

Y 盧溝橋事件をきっかけに始まった日中戦争が本格化したころ、治安維持法により多くの人たちが一斉検挙された。

a 青鞥社

b 新婦人協会

c 反ファシズム人民戦線の結成をはかったとして、労農派の大内兵衛らが検挙された。

d 衆議院議員総選挙で無産政党が8議席を獲得したことに衝撃を受けた田中義一内閣が、多くの共産党員を検挙した。

① X - a Y - c

② X - a Y - d

③ X - b Y - c

④ X - b Y - d

問10 下線部(i)に関して、占領期間中に出された法令として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 

10
----

- ① 労働関係調整法      ② 国家総動員法      ③ 学校教育法      ④ 教育基本法

- 【2】 高校生のユウさんは、古代・中世の外交に関心を持ち、メモA・Bを作成した。これを参考にして、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

メモA

- ・ 7世紀前半に初めて送られた遣唐使は、8世紀になると約20年ごとに送られるようになり、(a)多くの人々が中国に赴き、大陸からさまざまな文物がもたらされた。しかし平安時代には遣唐使は2回しか送られず、9世紀末には(b)使節の派遣中止が提案され、以後遣唐使は派遣されないままとなった。
- ・ 7世紀に朝鮮半島を統一した新羅や、その後、中国東北部で建国した渤海と日本との間では、たびたび使節が行き来したが、10世紀には両国とも滅んだ。
- ・ 9世紀には唐や新羅の商人がさかんに来航し、両国が滅亡して新王朝に代わった後もそれは続いた。(c)大陸からもたらされた文物は、日本の文化に大きな影響を与えた。(d)その後、摂関政治が確立するなかで、中国文化を消化しながら日本独自の文化を形成する動きがすすんだ。
- ・ (e)1019年、刀伊とよばれた女真人が九州北部に来襲した。

問1 下線部(a)に関連して、次の文章は奈良時代に入唐した人物に関するものである。この人物として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 11

地方豪族の出身のこの人物は、717年に入唐し20年近く諸学を学び帰国した。その後は橘諸兄政権下で重用され、752年に再度入唐した。

- ① 吉備真備      ② 阿倍仲麻呂      ③ 道鏡      ④ 橘奈良麻呂

問2 下線部(b)に関連して、次の史料は遣唐使に関するものであるが、これについて述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 12

諸公卿<sup>くぎょう</sup>をして遣唐使の進止<sup>(注1)</sup>を議定<sup>ぎじょう</sup>せしめむことを請ふの状  
右、臣某<sup>つし</sup>、謹みて在唐の僧中<sup>ちゅうかん</sup>、去年三月商客<sup>(注2)</sup>王訥<sup>おうとつ</sup>等に附して到る所の録記を案ずるに、大唐の凋弊<sup>(注3)</sup>、之<sup>これ</sup>を載すること具<sup>つぶさ</sup>なり。(中略)臣等、伏して旧記<sup>けみ</sup>を検するに、度々の使等、或は海を渡りて命<sup>めい</sup>に堪<sup>た</sup>へざりし者有り、或は賊<sup>あ</sup>に遭<sup>あ</sup>ひて遂に身を亡ぼせし者有り。唯だ、未だ唐に至りて難阻飢寒<sup>なんそきかん</sup>の悲しみ有りしことを見ず。中<sup>しんぼう</sup>の申報する所の如くむば、未然<sup>(注4)</sup>の事、推して知るべし。臣等伏して願はくは、中<sup>あまね</sup>の録記の状を以て、遍<sup>あまね</sup>く公卿・博士に下し、詳<sup>つまび</sup>らかに其の可否を定められむことを。国の大事にして、独り身の為<sup>た</sup>めのみならず。且<sup>しばら</sup>く款誠<sup>(注5)</sup>を陳べ、伏して処分<sup>もう</sup>を請ふ、謹みて言す。

寛平六年九月十四日

大使<sup>(注6)</sup> 参議<sup>(注7)</sup> 勘解由次官<sup>(注8)</sup> 從四位下兼守左大弁行式部<sup>こんのたいふ</sup> 權大輔<sup>とうぐうのすけ</sup> 春宮亮菅原朝臣某

(『菅家文草』)

- (注1) 進止：存廢。  
(注2) 商客：商人。  
(注3) 凋弊：衰えること。  
(注4) 未然の事：将来のこと。  
(注5) 款誠：まこと、まごころ。  
(注6) 大使：遣唐大使。  
(注7) 参議：大臣・納言とともに国政を審議する官。  
(注8) 勘解由次官：勘解由使局の次官。

- ① 唐が疲弊してきたので、日本は唐から受けていた冊封を返上しようとしていた。  
② 菅原道真が調べた限りでは、唐に渡った後に遣唐使が飢えや寒さで苦しんだことはなかった。  
③ この建言により菅原道真は遣唐大使に任命されず、唐にも渡らなかった。  
④ この史料の出来事の後、唐では安史の乱が勃発し政治的混乱が加速した。

問3 下線部(c)に関連して、古代の日本と大陸の関係について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 13

- Ⅰ 藤原仲麻呂が政権を握っていた時に派遣された遣唐使が、渤海経由で入唐した。
- Ⅱ 宋の商人の船を利用して大陸に渡った裔然が、宋の文物を日本にもたらした。
- Ⅲ 遣唐使に従って入唐した最澄が、天台の教えを受けて帰国して天台宗を開いた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問4 下線部(d)に関連して、この国風文化に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 14

- ① 橘逸勢らとともに後に三筆と称された空海は、力強い書風の『風信帖』を書いた。
- ② 平かなや片かなが広く使われるようになり、人々の感性を表現しやすくなった。
- ③ 醍醐天皇の命により、初の勅撰和歌集として『古今和歌集』がつくられた。
- ④ 『往生要集』や往生伝が著され、浄土教が庶民の間にも広まった。

問5 下線部(e)に関連して、11世紀前半の中央・地方における政治に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 15

- X 朝廷で権勢をふるった藤原道長の跡を継いだ藤原頼通が、摂政の地位についた。
- Y 東国では平将門が、西国では藤原純友が、ほぼ同じ時期に乱をおこした。

- ① X－正      Y－正                      ② X－正      Y－誤
- ③ X－誤      Y－正                      ④ X－誤      Y－誤

メモB

- ・平安時代末期に成立した<sup>(f)</sup>平氏政権は、大輪田泊を修築して、外国商人を畿内へ招き、貿易を推進した。
- ・鎌倉幕府成立後も、中国との正式な国交はなかったが、貿易は継続し、中国から来日していた **ア** が東大寺の再建に協力するなど、日中間の文化的交流もおこなわれていた。また火災で建物を失った **イ** の再建費用を得るために、鎌倉幕府公認のもと、貿易船が元へ送られた。
- ・<sup>(g)</sup>モンゴル襲来前後にも日中間の私的な貿易は継続された。
- ・14世紀後半には明が建国され、日本は<sup>(h)</sup>倭寇の禁圧を求める明と正式な国交を結んで貿易を開始した。日明貿易に対する方針は将軍によって変化することがあり、また貿易の担い手も時代とともに変化していった。
- ・14世紀末に高麗にかわって成立した朝鮮王朝も、明と同様に倭寇の禁圧を日本に要求し、日本側もこれに応じたため、<sup>(i)</sup>日朝貿易が開始された。

問6 メモB中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **16**

- |                 |               |                 |               |
|-----------------|---------------|-----------------|---------------|
| ① <b>ア</b> －陳和卿 | <b>イ</b> －建長寺 | ② <b>ア</b> －陳和卿 | <b>イ</b> －相国寺 |
| ③ <b>ア</b> －重源  | <b>イ</b> －建長寺 | ④ <b>ア</b> －重源  | <b>イ</b> －相国寺 |

問7 下線部(f)に関連して、平氏や日宋貿易に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **17**

X この人物は海賊を平定した功績などにより昇殿を許され、殿上人となった。

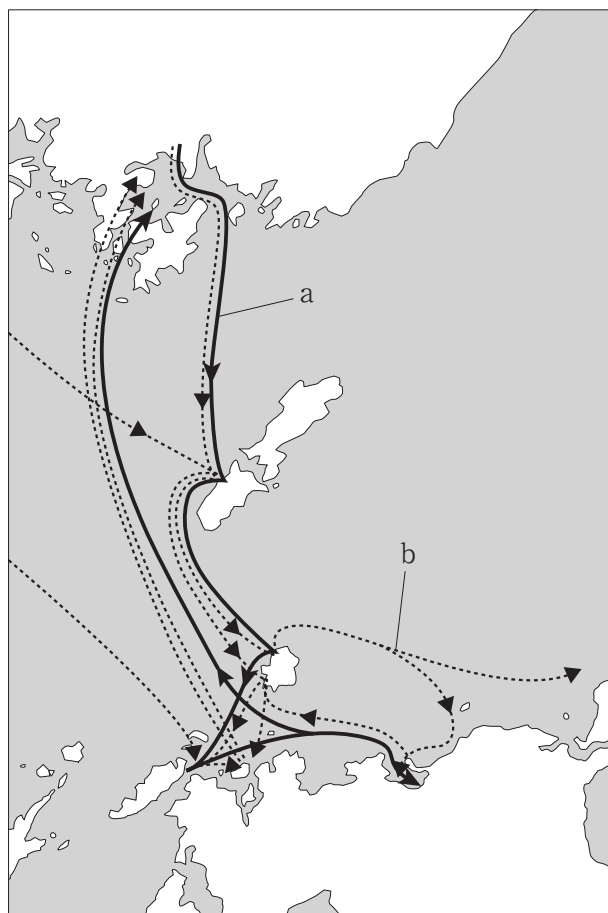
Y 日本は宋銭などを大量に輸入し、おもにこれらの品々を中国に輸出した。

a 平忠常      b 平忠盛      c 絹織物・陶磁器      d 金・硫黄

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X－a | Y－c | ② X－a | Y－d |
| ③ X－b | Y－c | ④ X－b | Y－d |

問8 下線部(g)に関連して、次の地図はモンゴル襲来における元軍の進路を示したものであるが、これについて述べた下の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選びなさい。

18



X aは文永の役の進路であり、この時には元軍は防塁を有効に活用した御家人らにより撃退された。

Y bは弘安の役の進路であり、この時には元が文永の役後に滅ぼした南宋の兵士が多く動員された。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

問9 下線部(h)に関連して、明の皇帝は、初め倭寇の禁圧を九州にいた南朝方のある人物に要請した。この人物として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

19

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 足利尊氏 | ② 日野富子 | ③ 足利直義 | ④ 懐良親王 |
|--------|--------|--------|--------|

問10 下線部(i)に関連して、室町時代の日朝貿易に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 

20
----

- ① 朝鮮は対馬の宗氏を通じて通交の制度を整え、貿易を統制しようとした。
- ② 日朝貿易には幕府だけでなく、初めから守護や国人、商人なども参加した。
- ③ 応永の外寇によって倭寇の活動がさかんになり、日朝貿易は衰退していった。
- ④ 日本からの輸出品のなかには、琉球貿易で入手した蘇木や香木もあった。

【3】 近世・近代における社会経済について、次の史料A・Bや文章Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 次の史料は、江戸幕府によって出された田畑に関するものである。

一、身上<sup>(注1)</sup> 能<sup>よ</sup>き百姓は田地<sup>でんち</sup>を買い取り、弥<sup>いよいよ</sup>宜<sup>よろし</sup>く成り、身<sup>しん</sup>躰<sup>だい</sup>成らざる者<sup>(注2)</sup>は田<sup>こ</sup>畠<sup>きやく</sup>沽<sup>く</sup>却<sup>く</sup>  
(注3) せしめ、猶<sup>なお</sup>々<sup>なお</sup>身上<sup>ひつじ</sup>成るべからざるの間、向<sup>きよう</sup>後<sup>こう</sup><sup>(注4)</sup> 田<sup>ばい</sup>畠<sup>ばい</sup>売<sup>い</sup>買<sup>ちよう</sup>停<sup>じ</sup>止<sup>た</sup>為<sup>た</sup>るべき事。  
寛永二十年<sup>(注5)</sup> 未<sup>ひつじ</sup>三月

（『御触書寛保集成』）

(注1) 身上：暮らし向き。

(注2) 身躰成らざる者：家計の苦しい者。

(注3) 沽却：売却。

(注4) 向後：以後。

(注5) 寛永二十年：1643年。

問1 この史料に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① この史料では、暮らし向きのよい農民に対してのみ田畑の売買を禁止している。
- ② この史料が出された原因は、発令直前に発生した享保の飢饉であった。
- ③ この史料の後も、質入れ・質流れというかたちでの田畑の売買が行われた。
- ④ この史料に対して、自由な田畑の取引などを求める国訴が農村で頻発した。

問2 この史料は、本百姓体制の維持を目的としたものであるが、その後は本百姓の階層分化がすすみ、小百姓が都市に流入することも増加していった。18世紀末、松平定信は資金を支給して、江戸へ流入していた貧民の帰郷をすすめたが、この政策として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 定免法
- ② 相对済し令
- ③ 上げ米
- ④ 旧里帰農令

問3 江戸時代の農民・農学に関する次の語句X・Yと、それに該当する文a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 23

X 村方騒動      Y 大蔵永常

- a 豪農でもあった村役人の不正を追及した小百姓が、村政参加などを主張した。
- b 村役人層の指導を受けた数多くの農民が、集団の力で領主に強訴した。
- c 江戸時代前期の農学者で、中国の農書に学び、『農業全書』を著した。
- d 江戸時代後期の農学者で、『広益国産考』などで先進的な農業技術を紹介した。

① X - a      Y - c

② X - a      Y - d

③ X - b      Y - c

④ X - b      Y - d

B 次の史料は、ある「寺請証文」である。

さしあ もうすてがた  
指上ケ申手形<sup>(注1)</sup>の事

ひとつ この 此次左衛門と申す男、 ぶしゅうおがわ 武州小川新田五兵衛と申す百姓の ところ 処へ、 ねんき 一年季<sup>(注2)</sup>に奉公罷出  
申し候。代々真言<sup>(注3)</sup>にて拙僧菩提旦那<sup>(注4)</sup>に紛れ御座無く候。  
もしこはつと 若し御法度の宗門<sup>(注5)</sup>のよし申す者御座候はば、拙僧罷出申し分け つかまつ 仕るべく候。後日  
のため 為手形指上ケ申し候。よつてくだん 仍 件の如し。以上  
延宝四年<sup>(注6)</sup> たつ 辰の三月日 ぶっさ 福生村<sup>(注7)</sup> 宝蔵院 (印)  
御代官様

(『小川家文書』)

(注1) 手形：宗旨手形。寺請証文。

(注2) 一年季：一年契約のこと。

(注3) 真言：真言宗。

(注4) 拙僧菩提旦那：この僧侶の寺を菩提寺としている檀家。

(注5) 御法度の宗門：禁止されている宗教。

(注6) 延宝四年：1676年。

(注7) 福生村：現東京都福生市。

問4 この史料の内容について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 24

- ① 史料中の「拙僧」とは、福生村にある宝蔵院の僧侶を指している。
- ② 福生村の次左衛門が、小川新田の五兵衛のところに奉公に行く際の証文である。
- ③ この証文は代官が発行しており、これにより次左衛門の年季奉公が可能になった。
- ④ 次左衛門の家の宗派は、先祖代々真言宗であることを証明している。

問5 この史料中の「御法度の宗門」とはキリスト教を指しているが、この史料が書かれる以前のキリスト教徒に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 25

- Ⅰ 大坂の陣では、豊臣方に参加して徳川方と敵対したキリシタン牢人もいた。
- Ⅱ 幕府の命令により、元和年間に長崎で多くの宣教師や信徒らが処刑された。
- Ⅲ 苛酷な年貢の取り立てやキリスト教徒への弾圧に抵抗して、農民らが原城跡にたてこもった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問6 江戸時代には旅行などの時にも史料にあるような証明書が必要であった。この時代の交通について、東海道などの五街道は幕府の直轄下におかれたが、17世紀半ばからこれを管理した幕府の役職として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 26

- ① 若年寄      ② 道中奉行      ③ 側用人      ④ 寺社奉行

C 天保年間におこった飢饉は長期化し、農村や都市には困窮した人々があふれたが、これに対し幕府や諸藩は有効な政策を打ち出せず、百姓一揆や打ちこわしが頻発した。こうした社会不安が高まった状況の下、<sup>(a)</sup>幕府に衝撃を与える出来事が発生した。また列強の接近も増え、1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーが来航して開国を強く求めると、翌年幕府はついに日米和親条約を結んだ。

その後、日米修好通商条約が結ばれ、オランダ・ロシア・イギリス・フランスともほぼ同内容の条約を締結して、1859年から貿易が開始された。これにより<sup>(b)</sup>国内経済は大きく変化し、幕府に対する反感や不信は増大していった。長引く社会不安のなかで、中山みきを教祖とする  などの民衆宗教の信者が急増し、また1867年には熱狂的な「ええじゃないか」の集団乱舞も発生した。そして1年半近くにわたる戊辰戦争の結果、国内は新しい政府によりほぼ統一された。

新政府は戊辰戦争の最中から新しい国家を構築する動きをみせ、1868年3月に五箇条の誓文、五榜の掲示などを示し、閏4月には  憲法の三権分立制を取り入れた政体書を制定した。その後、江戸を東京と改め、ここを新たな首都として<sup>(c)</sup>数多くの改革を実行していった。

問7 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- |   |       |           |   |       |        |
|---|-------|-----------|---|-------|--------|
| ① | ア－黄檗宗 | イ－アメリカ合衆国 | ② | ア－黄檗宗 | イ－フランス |
| ③ | ア－天理教 | イ－アメリカ合衆国 | ④ | ア－天理教 | イ－フランス |

問8 下線部(a)に関連して、19世紀前半の出来事に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、日本との通商を求めた。
- ② 財政の安定などを目的に上知令を発した老中が退陣に追い込まれた。
- ③ 側用人出身の老中を父とする若年寄が江戸城内で刺殺された。
- ④ 越後の生田万につづいて、大坂で大塩平八郎が幕府に対して武装蜂起した。

問9 下線部(b)に関連して、開国後の経済に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句や文a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

X 開国後の物価高の抑制を理由に幕府は貿易の統制をはかり、この法令を出した。

Y 日本と外国との金銀比価の違いにより、幕府は貨幣の改鑄を余儀なくされた。

- a 五品江戸廻送令
- b 価格等統制令
- c 金・銀の交換比率が海外では1：5であった。
- d 金・銀の交換比率が海外では1：15であった。

- ① X - a      Y - c
- ② X - a      Y - d
- ③ X - b      Y - c
- ④ X - b      Y - d

問10 下線部(c)に関連して、政府が明治前期に実施した地租改正で、最初に定められた地価に対する税率として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 30

- ① 1%
- ② 2.5%
- ③ 3%
- ④ 5%

【4】 近現代の政治について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 1912年7月に明治天皇が死去し、新天皇が即位して大正時代が始まった。その年の暮れにおこった<sup>(a)</sup>第1次護憲運動は、政党や民衆が協調した動きをみせた結果、大きな政治変動を生んだ。

その後、第一次世界大戦に参戦した日本には、<sup>(b)</sup>大戦景気とよばれる空前の好景気が到来した。内閣は、大戦中におこったロシア革命への干渉戦争であるシベリア出兵に参加し、出兵決定の影響もあって発生した米騒動の責任を取って総辞職した。これに代わって国民の期待を背負って登場した<sup>(c)</sup>原敬内閣は、3年余り国政を担ったが、首相は東京駅で暗殺された。その翌年、多大な戦費や兵力をつぎ込んだシベリア出兵は、ほとんどの撤兵が完了した。

大正中期から昭和初期にかけては、女性の社会進出がすすみ、電話交換手やタイピストなどの仕事に就く女性も増え、とよばれた。また、新聞をはじめとするマスメディアの発達を背景に、労働者やサラリーマンなどを担い手とする大衆文化が誕生した。都市部やその郊外では交通網も発達し、阪神急行電鉄の小林一三は沿線の住宅開発とともに、宝塚少女歌劇団などの娯楽も提供した。

大正時代には有権者の増大や新しい思想などを背景に、<sup>(d)</sup>大正デモクラシーとよばれる風潮が生まれ、ロシア革命や米騒動などをきっかけに、社会運動が発展した。

問1 文章中の空欄・に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- |          |        |          |      |
|----------|--------|----------|------|
| ① ア－大隈重信 | イ－職業婦人 | ② ア－大隈重信 | イ－モボ |
| ③ ア－寺内正毅 | イ－職業婦人 | ④ ア－寺内正毅 | イ－モボ |

問2 下線部(a)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 内大臣兼侍従長であった人物の組閣に対する非難が、運動の契機となった。
- ② 立憲政友会の尾崎行雄や憲政会の加藤高明らが運動を主導した。
- ③ 「政費節減・民力休養」を掲げた運動で、多くの農民が参加した。
- ④ 藩閥勢力を背景に組閣した山県有朋内閣が退陣に追い込まれた。



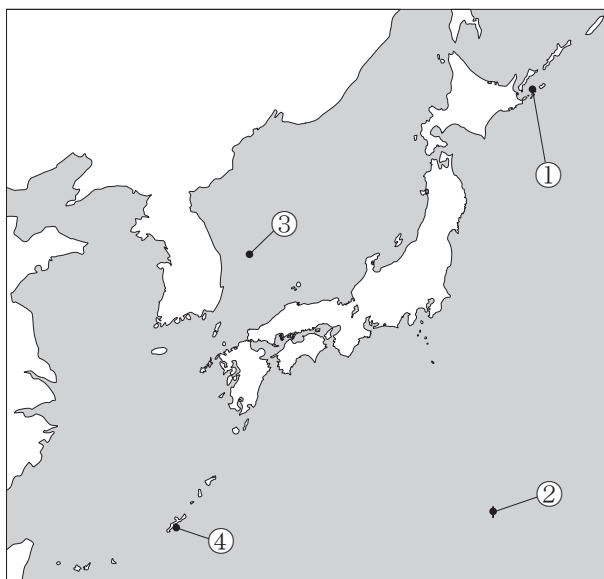
B 連合軍占領下の日本では、非軍事化と民主化の方針のもとで多くの改革が実施されたが、(e)戦後の政治経済の混乱もあり、十分な成果をあげられない政策もあった。その後、冷戦体制の進行によりアメリカの対日占領政策の方針は変更されていった。西側陣営への日本の早期編入をすすめたアメリカは講和を急ぎ、1951年のサンフランシスコ講和会議では、日本と48カ国との間で平和条約が調印され、翌年、条約が発効して(f)日本の主権回復が実現した。独立回復後の(g)吉田茂内閣のさまざまな政策は、国内治安体制の強化と再軍備をすすめていくものであったため、革新陣営から「逆コース」とよばれた。

(h)政界に復帰した鳩山一郎は、1954年に吉田らの主流派を批判して自由党を離脱し、日本民主党を結成した。この年、第5次吉田内閣はその強権的な政治や造船疑獄事件が反発を招いて退陣に追い込まれ、鳩山内閣が成立した。1955年の総選挙では日本民主党が第1党となったが、この選挙であわせて3分の1以上の議席を確保した左右両社会党が合同した。これを受けて日本民主党と自由党も合流して(i)自由民主党を結成し、いわゆる55年体制が成立した。

問6 下線部(e)に関連して、猛烈なインフレーションを沈静化するため、政府は法令を出して貨幣流通量を減らそうとしたが効果は一時的であった。1946年に出されたこの法令として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 36

- |          |           |
|----------|-----------|
| ① 政令201号 | ② 独占禁止法   |
| ③ 貨幣法    | ④ 金融緊急措置令 |

問7 下線部(f)に関して、主権が回復しても、なおいくつかの地域は占領下におかれた。幕末から明治初期に日本の領土とされた地域で、戦後はアメリカの施政権下におかれ1968年に日本に復帰した地域の場所を、次の地図中の①～④のうちから一つ選びなさい。 37



問8 下線部(g)に関連して、1948年から1954年の第2次から第5次までの吉田茂内閣の時の出来事に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句や文a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 38

X デモ隊と警官隊が衝突したこの事件を契機に、破壊活動防止法を成立させた。

Y ドッジは財政支出の大幅な削減を要求した一方で、日本経済を国際経済に直結させた。

a 虎の門事件

b 血のメーデー事件

c 戦前と比べて大幅な円安となる為替レートを設定し、輸出の促進をはかった。

d 戦前と比べて大幅な円高となる為替レートを設定し、輸出の促進をはかった。

① X - a      Y - c

② X - a      Y - d

③ X - b      Y - c

④ X - b      Y - d

問9 下線部(h)に関して、鳩山一郎の政界復帰以前、GHQの指令による共産党幹部の公職追放に始まり、政府が行政・報道・教育などの職場から共産主義者を追放した出来事として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 39

① ソーシャル＝ダンピング

② レッド＝パージ

③ モラトリアム

④ ハル＝ノート

問10 下線部(i)に関して、55年体制成立以後の自由民主党やその内閣について述べた次の文I～IIIを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 40

I 自由民主党は総選挙で敗れ、日本新党の細川護熙を首相とする連立内閣が誕生した。

II 佐藤栄作内閣のもとで交渉が進められ、日韓基本条約が結ばれた。

III 中曽根康弘内閣は、行財政改革を推進し、電電公社の民営化を断行した。

① I - II - III

② I - III - II

③ II - I - III

④ II - III - I

⑤ III - I - II

⑥ III - II - I

# 日本史(20260204) 解答一覧

大問	問	解答番号	正解
【1】	1	1	③
	2	2	②
	3	3	③
	4	4	④
	5	5	③
	6	6	①
	7	7	②
	8	8	④
	9	9	③
	10	10	②
【2】	1	11	①
	2	12	②
	3	13	②
	4	14	①
	5	15	②
	6	16	①
	7	17	④
	8	18	③
	9	19	④
	10	20	③
【3】	1	21	③
	2	22	④
	3	23	②
	4	24	③
	5	25	①
	6	26	②
	7	27	③
	8	28	②
	9	29	②
	10	30	③

大問	問	解答番号	正解
【4】	1	31	③
	2	32	①
	3	33	②
	4	34	④
	5	35	①
	6	36	④
	7	37	②
	8	38	③
	9	39	②
	10	40	④